

別表第 2（第 3 条関係）

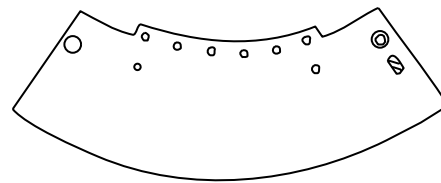
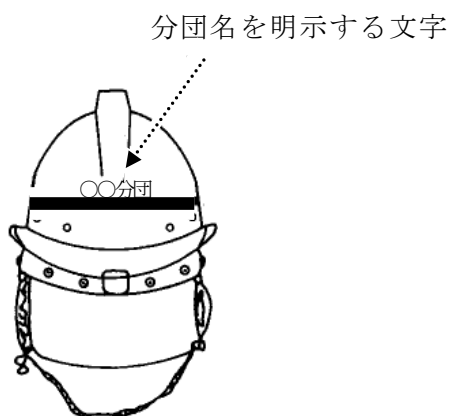
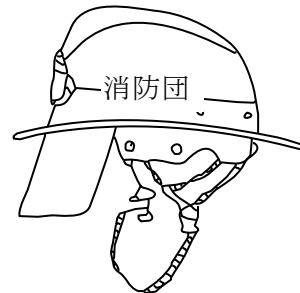
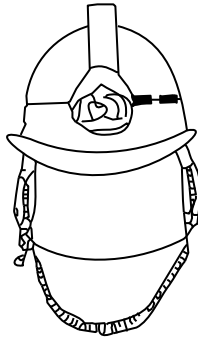
防火帽	地 質	濃紺メタリック色の硬質地
	制 式	かぶと型とし，前後部にひさし，内部に頭部の衝撃を防ぐ装置を付ける。 顔面保護板，しころ及びあごひもを付ける。 形状は，第 1 図 1 のとおりとする。
	帽 章	帽の前面に，銀色の消防団き章を金色の桜で囲んだ標票を付け，帽の左右の側面に，「消防団」の文字を銀色の反射材で入れ，帽の後面に，分団名を明示する文字を入れる。 標章の形状及び寸法は，第 1 図 2 のとおりとする。
	周 章	帽の腰周りに，1 条の赤色の線を入れる。 形状及び寸法は，第 1 図 3 のとおりとする。
防火衣	地 質	紺色の導電性を有する難燃性の布地とし，襟，肩及び腕にオレンジ色を配する。
	制 式	平折襟とし，掛け合わせにファスナーをつける。 胸部の左及び側腹部の左右に雨ぶた付きポケットを付ける。 胴には，ベルトを付ける。 胸部の左右，後面の中央，すそ及びそでに反射布を縫い付ける。 後面の上部に，「VOLUNTEER FIRE CORPS」及び「KYOTO」の文字をオレンジ色の反射材で入れる。 形状は，第 2 図のとおりとする。
防火靴	地 質	銀色の耐熱性ゴム地
	制 式	ひざカバー，つりバンド付き長靴とする。
安全ベスト	地 質	灰色の合成繊維
	制 式	ベスト型とし，掛け合わせにボタン 2 個を 1 行に付ける。 後面に赤色で「消防団」の文字を入れる。 形状は，第 3 図 1 のとおりとし，図中斜線部分に反射布を付ける。
	胸 章	左胸の上部に，黄色の消防団き章を付ける。 形状及び寸法は，第 3 図 2 のとおりとする。
合冬服（上衣）	地 質	白色の布地
	制 式	襟は，詰め襟，赤色とし，襟端に 1 条の金色の線を入れ，掛け合わせに，ファスナーを付ける。 前面は，右肩先から左腰部にかけて，後面は，左肩先から右腰部にかけて，両端に 1 条の金色の線を付けた 1 条の赤色の帯を入れる。 袖口及び裾は，紺色とし，袖に 1 条の金色の線を入れる。 肩章は，紺色とし，周囲に 1 条の金色の線を入れ，外側の端を肩の縫い目に縫い込み，襟側の端を金色のボタンで留める。 形状は，第 4 図 1 のとおりとする。

京 都 市 カ ラ ー ガ ー ド 隊 被 服	夏 服 (上衣)	地 質	白色の布地	
		制 式	襟は、詰め襟、紺色とし、襟端に 1 条の金色の線を入れ、掛け合わせに、ファスナーを付ける。 前面は、右肩先から左腰部にかけて、後面は、左肩先から右腰部にかけて、両端に 1 条の金色の線を付けた 1 条の紺色の帯を入れる。 袖口は、紺色とし、袖に 1 条の金色の線を入れる。 裾は、紺色とする。 肩章は、紺色とし、周囲に 1 条の金色の線を入れ、外側の端を肩の縫い目に縫い込み、襟側の端を金色のボタンで留める。 形状は、第 4 図 2 のとおりとする。	
	ス カ ー ト	地 質	赤色の布地	
		制 式	前面及び後面に、ひだ奥を紺色としたボックスプリーツ各 2 本を入れる。 スカート腰部に紺生地を縫い合わせる。 形状は、第 4 図 3 のとおりとする。	
	訓 練 服	上 衣	地 質	赤色の布地
			制 式	ジャンパーとし、掛け合わせにファスナーを付ける。 後面に愛称を明示する白色の文字を入れる。 形状は、第 4 図 4 (1)アのとおりとする。
		ズ ボ ン	地 質	赤色の布地
			制 式	長ズボンとし、両ももの側面に各 1 個のポケットを付ける。 裾は、シングルとする。 右ポケットの下部に、愛称を明示する白色の文字を斜めに入れる。 形状は、第 4 図 4 (2)アのとおりとする。
	夏 用 訓 練 服	上 衣	地 質	別表第 1 活動服上衣半そでと同様にする。
			制 式	
		ズ ボ ン	地 質	赤色の布地
			制 式	半ズボンとし、前面の右下部に、愛称を明示する白色の文字を入れる。 形状は、第 4 図 5 (1)のとおりとする。
	演 技 用 下 衣		紺色の一分丈スパッツとする。	
	演 技 帽	地 質	白色の布地	
		制 式	アーミーキャップ型とし、帽の両面に赤色及び紺色の二重飾り帯を付ける。 形状は、第 4 図 6 のとおりとする。	
	靴	長 靴	白色の皮革製編上靴とする。	
		訓 練 靴	白色の運動靴とする。	
	手 袋		白色の布地で、5 本指とし、留め金を付ける。	
	靴 下		肌色で化学繊維製とする。	

機 甲 分 団 ベ ス ト		地 質	オレンジ色のナイロンメッシュ
		制 式	ベスト型とし、掛け合わせにマジックファスナーを付ける。 後面の上部に「機甲分団」、下部に「京都市」と黒色で文字を入れる。 形状は、第5図のとおりとし、図中斜線部分に白色の反射布を付ける。
応 急 救 護 分 団 被 服	上 衣	地 質	明るい灰色の布地
		制 式	ブルゾンとし、掛け合わせにファスナーを付ける。 胸部の左右にふた付きポケットを付ける。 胸部の左側のふた付きポケット部分に1個のファスナー付きポケットを付ける。 前面の下部の左右に各1個のポケットを付ける。 左胸部に「応急救護分団」の文字をオレンジ色の糸でししゅうする。 そでは、長そでとし、そで口はボタンで留める。 左上腕部にエンブレムを付ける。 形状は、第6図1のとおりとする。
	ズ ボ ン	地 質	上衣と同様とする。
		制 式	長ズボンとする。 両もも及び後方の右側に各1個のポケットを付ける。 両ももの側面及び後方の左側に各1個のふた付きポケットを付け、後方の左側のポケットは、中央をボタンで留める。 右ももの側面のポケット部分に1個のファスナー付きポケットを付ける。 すそは、シングルとする。 形状は、第6図2のとおりとする。
	応急救護分団 被服用バンド		灰色の布地とし、銀色のバックルを付ける。 形状及び寸法は、第6図3のとおりとする。

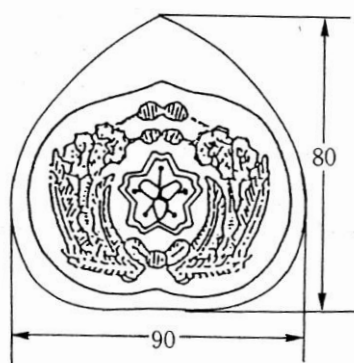
第1図 防火帽（数字は、寸法を示し、その単位はミリメートルとする。以下同じ。）

1 制式



しころ

2 帽章



3 周章

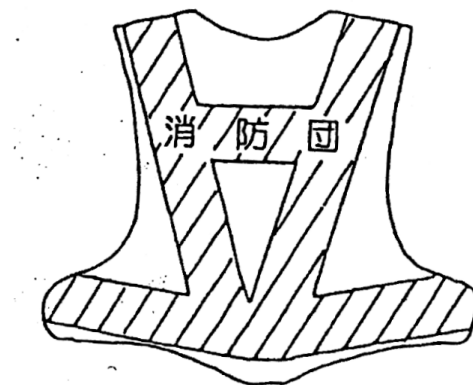
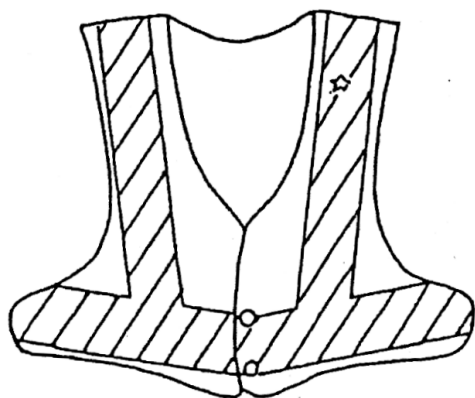
区 分	周 章
指揮者	10 
隊 員	5 

第2図 防火衣制式

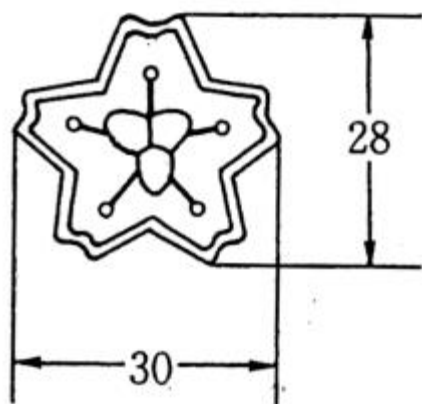


第3図 安全ベスト

1 制式



2 胸章

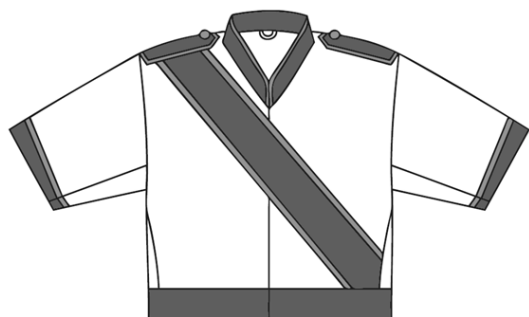


第4図 カラーガード隊被服

1 合冬服（上衣）制式



2 夏服（上衣）制式



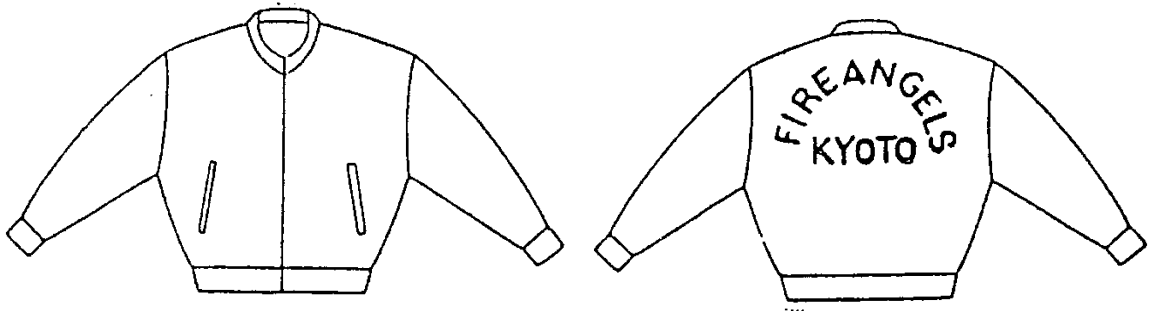
3 スカート制式



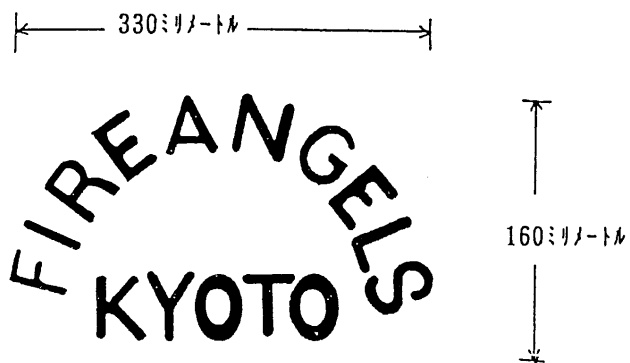
4 訓練服

(1) 上衣

ア 制式

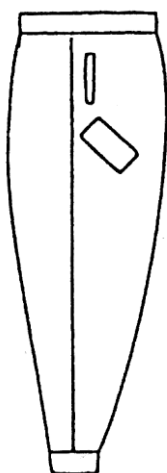


イ 愛称を明示する文字



(2) ズボン

ア 制式

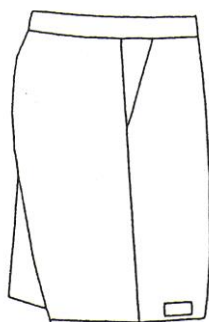


イ 愛称を明示する文字



5 夏用訓練服（ズボン）

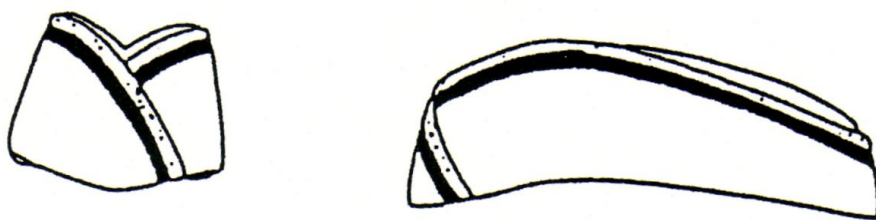
(1) 制式



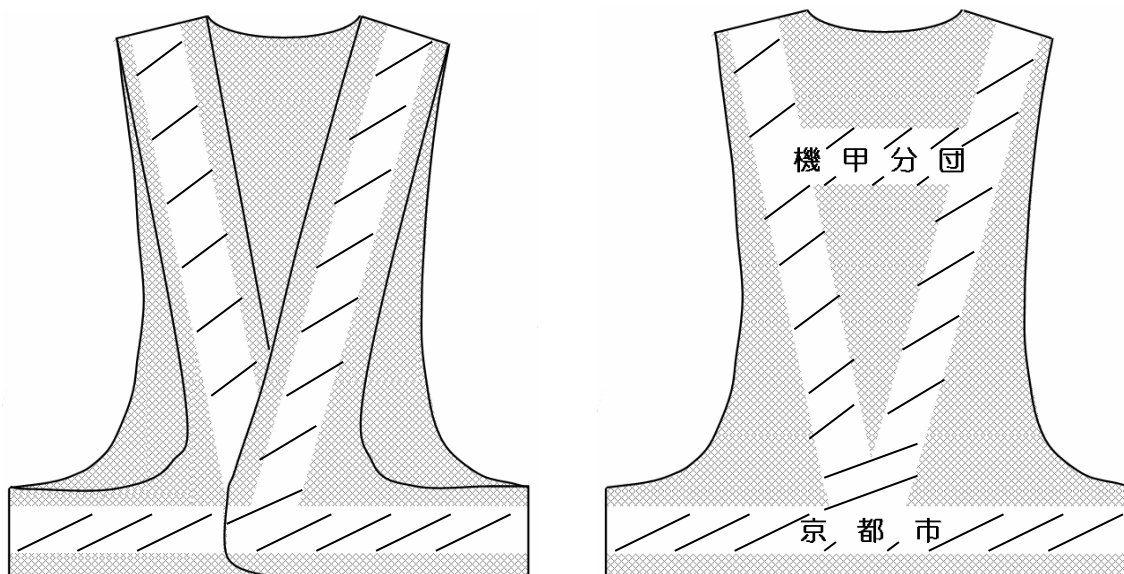
(2) 愛称を明示する文字



6 演技帽制式

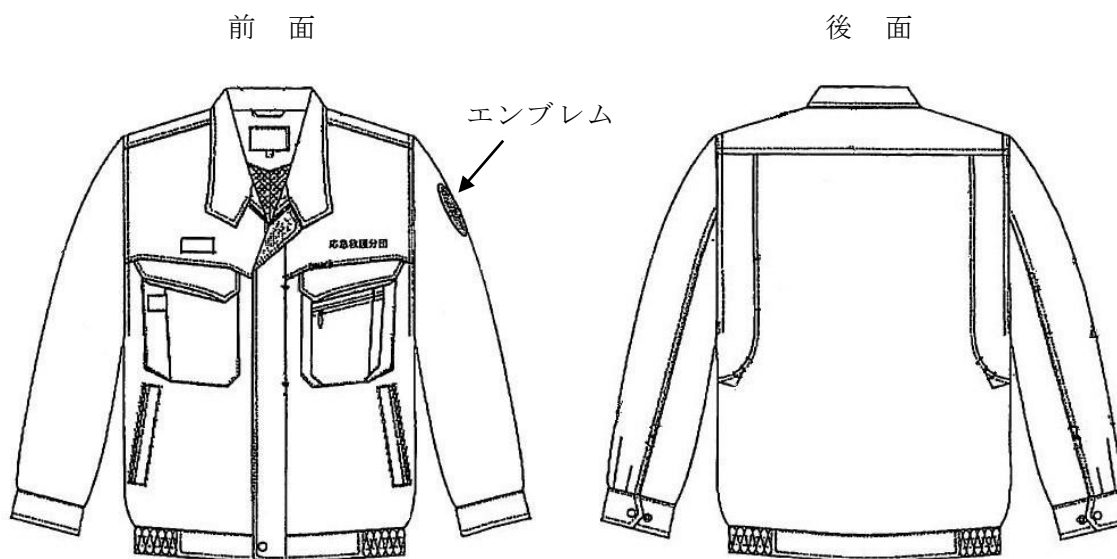


第5図 機甲分団ベスト制式



第6図 応急救護分団被服

1 上衣制式

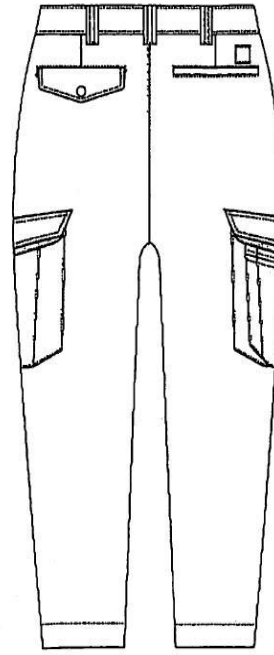
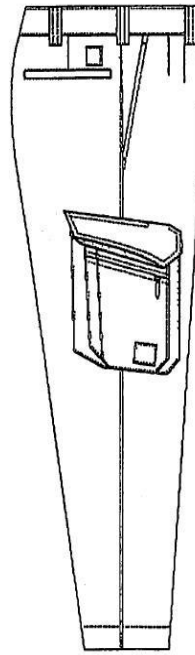
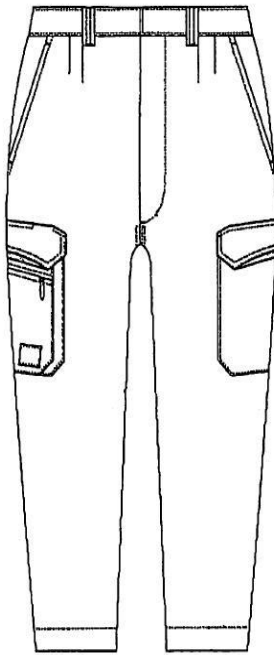


2 ズボン制式

前面

側面

後面



3 応急救護分団被服用バンド

